

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-177506
(P2022-177506A)

(43)公開日

令和4年12月1日(2022. 12. 1)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 39/395 (2006. 01)	A 6 1 K 39/395 V	4 C 0 8 5
A 6 1 P 29/00 (2006. 01)	A 6 1 P 29/00	4 H 0 4 5
A 6 1 P 7/00 (2006. 01)	A 6 1 P 7/00	
A 6 1 P 31/04 (2006. 01)	A 6 1 P 31/04	
A 6 1 P 37/02 (2006. 01)	A 6 1 P 37/02	
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 10 頁) 最終頁に続く		

(21)出願番号 特願2021-83812(P2021-83812)
(22)出願日 令和3年5月18日(2021. 5. 18)

(71)出願人 598015084
学校法人福岡大学
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(74)代理人 100145403
弁理士 山尾 憲人
(74)代理人 100145104
弁理士 膝縮 祥治
(72)発明者 吉兼 由佳子
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
学校法人福岡大学内
(72)発明者 古賀 允久
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】医薬組成物

(57)【要約】

【課題】I V I Gが適用される疾患の治療において、総投与量を抑制することができる医薬組成物を提供する。

【解決手段】医薬組成物は、シアル酸高含有I g G抗体及びシアル酸高含有F c断片からなる群から選択される少なくとも1種を有効成分として含み、炎症性疾患の処置に用いられる。医薬組成物が含むシアル酸高含有I g G抗体及びシアル酸高含有F c断片は、1モルあたりのシアル酸含有量が0.8モル以上であってよい。

【選択図】図2

